年間第5週・金曜日 41.全ての事を良くな さった

年間第5週・金曜日 41.全ての事を良くなさった一私たちしてあられるイエス関節であられるである。 は、ナザレで人としての完されるでご自分の仕事を果たさ適た。一動勉さ、専門的な仕事にある。 性。一仕事は最後まできたがある。 ける小さなこと。

2024/04/09

年間第5週・金曜日

41. 全ての事を良くなさった

- 一 私たちの模範であられるイエスは、ナザレで人としての完璧さでご自分の仕事を果たされた。
- 一 勤勉さ、専門的な適性。
- 一仕事は最後まできちんとする。専門的な仕事における小さなこと。
- 41. 1 私たちの模範であるイエスは、ナザレで、人間的に完全なやり方で仕事をなさった

福音は、主が過ごされたこの地上での年月を思い起こして、賞賛の気持ちと言葉を頻繁に述べています。イエスの生き方に触れた大勢の人くして感想の中に、すべてを言い尽くしていると思われるものがあります。 か奇跡を目の当たりにして、驚きかつ熱狂した群衆が我知らず口にした 叫びのことです。「あの方はすべてをよくなさった」(マルコ7・37)。驚くほどよくなさった。人目を奪うような奇跡から、誰の目にもとまらないような些細で日常的なことに至るまで「完全な神、完全な人」であらせられるキリストは完璧になさいました $_{-}^{1}$ 。

今日のミサの福音²は、主に従う人が、「あの方はすべてをよく考えになること叫んだ出来事についストはます。キリストに勧めています。私たちは常生活における手本でいと思りまた、キリストに似たいと思りまた、大きなことにあまったとと同様こととの表もない小さなことができます。

イエスの生活の大部分は、目立たない辺鄙な村で仕事をしながら過ごされた普通の生活でした。イエスはそこナザレでもすべてを人間的には完

成の域までやり遂げられました。ナ ザレで人々が出会った最も優れた大 工だと言われていたことでしょう。

もっと多くの人々は、富を蓄積する こと、名声と権力を得ること、権威 を強く主張すること、あるいは自分 の情熱を満足させるために必要とす るものを得ることなど、それほど価 値のない目的のために働きます。私

たちは、純粋に人間的な目的のため に、良心的に長時間働く有能な人を 知っています。主は、自分に従う人 が世の中で良い仕事をするように望 んでおられます。彼らは仕事の質で 知られなければならず、そのように して優秀だという名声を得て、什事 や専門職で本当に有能な人になりま す。彼らは、なげやりな態度で仕事 を決してしてはいません。立派な人 間的目標に明確に動機づけられて頑 張りとおす人でなければなりませ ん。その人の仕事がどんなものであ ろうと、超自然的徳と同様に人間徳 を実行しなければならないからで す。私たちは信仰によって、イエス がナザレでされた手什事を通して什 事は非常に尊いものとされたこと、 そのため私たちが神に捧げる仕事は イエス・キリストの贖いの業と関係 すること³を信じています。

ですから、私たちは、日々の仕事、 特に生活のために果たす仕事を、ナ ザレで隠れてお過ごしになったイエスを真似て、神にお捧げするように立派に果たしたいと、主に申し上げます。

41. 2 懸命に働くこと、「専門職 で優れていること」

イエスが弟子たちを選ぶとき、一生 懸命に働いている人たちの中から探 し出しました。「先生、わたしたち は、夜通し苦労しましたが、何もと れませんでした」 ⁴、イエスは最初 の弟子になる者たちからそう言われ ました。生計を立てるために夜通 し、一生懸命に働く彼らは漁師でし た。

聖パウロそして彼に同行した人々は、自らが述べているように、「苦労して自分の手で稼ぐ」 うその模範になります。聖パウロはテサロニケの最初のキリスト教徒に手紙を書きました。「わたしたちは、お金を払わずに誰かのパンを食べることはあ

りませんでした。わたしたちは、だ れにも負担をかけまいとして、夜も 昼も働きながら、神の福音をあなた がたに宣べ伝えたのでした|゜。 聖 ヨハネ・クリゾストモは「聖パウロ は自分を多忙にするためとか、気分 転換するためとか、休養のために什 事に従事したのではない | と評して います。聖パウロは自分や他の人々 に必要なものを備えるために懸命に 仕事をしました。悪魔に命令ができ た人、全世界に教えを広めた人でし た。すべての国、民族、町は、パウ 口の熱心な世話に委ねられました。 彼は夜も昼も働きました。聖ヨハネ は続けてこう言います。私たちは、 彼が担った困難を全く気に留めない でいて、どんな弁解ができるでしょ うか⁷。何の弁解もできません。私 たちも、ぞんざいに仕事をしたり、 中途半端な仕事をしたりしないで、 できるだけ完璧に、懸命に働かなけ ればなりません。

良い仕事をするためには、まず、時 間を有効に使って、懸命に働かなけ ればなりません。時間を有効に使わ ないで過ごせば、基本的に大切な人 間徳を実行しながら、犠牲の精神を 持って生活し、霊的に絶えず心配り をすることは難しいばかりか不可能 でしょう。仕事のない生活は堕落の もとになりますから、触れるものが 何であってもすべて台無しになるこ とが頻繁に起こるでしょう。使われ ていない鉄はさびが食い、もろくな り、役に立たなくなります。しか し、仕事に使われれば、随分と役に 立ち人目を引きます。銀にも少しも 劣りません。開墾されずに休んでい る畑には、健全な作物ができず、雑 草、あざみ、いばらや役に立たない 植物が生じます。耕された畑地は、 熟した果実でいっぱいになります。 要するに、人は誰でも、怠慢によっ て後退していき、正義にかなった活 動を行うことによって成長します °。この事はちょうど、家庭の世話

をし、子どもたちを育てるために多くの時間を費やす主婦や母に真に当てはまります。そして、自営業者、学生、会社社長、製造業の最終部門にいる労働者にも、同様に当てはまる真理です。

神は私たちに、人間的に良くできた 仕事を望んでおられます。つまり私 たちは仕事を秩序正しく、技術と能 力をもって、完全に仕上げるよう、 一生懸命働かなければならないとい うことです。つまり荒削りでなく、 傷や汚れのない、完成された仕事を することを意味します。真面目に仕 上げられた仕事で、仕上がりが表向 きに良く見えるだけでなく、内容も 優れていることを意味します。手仕 事か知的仕事、企画する側かそれを 果たす側か、または為す努力が管理 されているかいないかは問題ではあ りません。キリスト者は仕事に新し い何かを付加します。今述べた特徴 は別として、キリスト者は仕事を神

のために行うからです。永遠の価値 を持つ日々の捧げものとして仕事を 神に捧げます。とは言え、その仕事 の質もどの誠実な仕事の質とも同じ です。つまり、責任を持って能力を ふる回転させ、真面目に成し遂げら れた仕事です。このようにしてよく 為された仕事を通して、仕事を果た した人は創造主に栄光を与えるの で、人としての尊厳が身につきま す。私たちが生まれながらにして 持っている才能は良く使われ、神を 絶えず賛美します。私たちは、キリ ストのすぐお傍にいて従い、模範と して模倣したいのなら、すべてをよ くなさった主をいつも心にとめて、 仕事をさらに完全なものにしなけれ ばなりません。今日の祈りの中で、 自分の仕事と勉強の人間的な質を糾 明して、主とともにどこを改善でき るか考えてみましょう。私たちは もっと懸命に仕事をすることができ ますし、時間厳守をもっと良くする こともできます。努力を続け、始め

た仕事を同じ熱意を込めて良くやり遂げることができます。むろん、秩 序正しく、仕事で使用する家具、工 具、道具、設備をもっと秩序正しく 用い、もっと良く手入れすることも できます。

41. 3 仕事を良く仕上げること。 小さなことは、どの仕事をも専門的 なものにする

キリスト者は仕事に新しいまでのいます。なったのではなった。ない方をしたようにはなった。というではないがに、出ているではないがですが、人一をははなるがではないでは、できるでははあるした。があるました。があるはっていまった。があるはっていまった。があるに滞在した。があるはっていばっていまった。があるに滞在した。があるにではっていばっていばっていばっていばっていばっていばっていがよいがあるにはっていばっていばっていばっていばっていばっていばっていばっていばいる。

を伸ばし、大聖堂に入ることもあり ました。私は好んで塔に登り、高い ところにある装飾の彫刻を眺めたも のです。それはまさしく石でできた レースであって、辛抱強い仕事の結 実でした。青年たちと話しながら、 あのみごとな彫刻は地上からは見え ないのだ、と教えました。そして、 繰り返し説明してきたことをもっと はっきりわからせるために、地上か らは見えないあの石のレースこそ、 神の什事、神の業だ、と言ったので す。つまり、自分の仕事を完璧に美 しく仕上げること、石であっても華 奢な絹のカーテンのように巧みに仕 上げることです。若者たちは目で見 るこういう事実を前にして、これが すべて祈りであり、神との美しい対 話であることを悟りました。このよ うに什事に精魂こめた人々は、自ら の努力が道ゆく人たちのためではな く、ただただ神のためであることを よく知っていたのです。職業上の召 しだしをどうすれば神に近づけるこ

とができるのか、もうおわかりに なったでしょう。あの石工たちにするのです。そうすれば、 あなたの仕事も神の業となってもなたの仕事をもつようになあった仕事でした。 あなた明のした仕事でした。ここくは、 神のです」。たとえ誰一人見るなくてで でてても、誰も評価してにここくくだっても、 がは事をもかけるいます。私たちが仕事を完璧は、 を込めて仕上げる努力をするには、 それだけで十分です。

きちんと仕上げることは、たいして 重要でない細かなことに気をつために ことを時に意味します。そのかも をおりますです。しかもします。 それを神に捧げることがはったがはます。 ではならず、からではます。 にはならず、かしている仕事を にはならず、がしているのを にはならず、かければ、 を記されたちがしまた、がしまた、 にはならず、ながしまたがしまた。 にはならず、ながしまたがしまた。 にはならず、ながしまたがしまた。 にはならず、ながしまたがしまた。 にはならず、ながしまたがしまた。 にはならず、ながしまたがしまた。 にはならず、ながしまたがらです。 にはならがしまたがらできたがした。 にはならがにそれを捧げれば、 この祈りの時間に、多分、神は私たちの仕事のやり方について、何を大切にし、どんなやり方をするかをしっかりと見極めるよう望んでおらいます。私たち自身の気まぐれやられます。私たち自身の気まぐれやのから仕事に取り組むために、秩ののではなけているために、関心のに必要以上に時間がするというではないますが、対しているというではないますが、対しているというではないますが、対しているというではない。

かかっていませんか? 従事している 仕事を何らかの言い訳をつくって中 断し、他の人の仕事を妨げていませ んか?

½聖ホセマリア・エスクリバー 『神 の朋友』56

²マルコ7・31-37

³ 第二バチカン公会議 現代世界憲章 6 7

- ⁴ルカ5・5
- ⁵ ーコリント4・12
- ⁶ ーテサロニケ2・9
- ⁷聖ヨハネ・クリゾストモ, Homily on Priscilla and Aquila
- $^{8}_{-}$ 聖ヨハネ・クリゾストモ,Homily on Priscilla and Aquila
- 。聖ホセマリア・エスクリバー 手紙 1930年3月24日
- ¹⁰ 聖ホセマリア・エスクリバー 手 紙 1954年3月19日
- ¹¹ 聖ホセマリア・エスクリバー 『神の朋友』 6 5
- ¹² 聖ホセマリア・エスクリバー 『鍛』746

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-V-kin/ (2025/12/13)